

宍粟市における部活動の地域展開

～子どもたちの豊かで幅広い活動機会の確保に向けて～



1. 部活動改革の必要性

2. 宍粟市における部活動地域展開

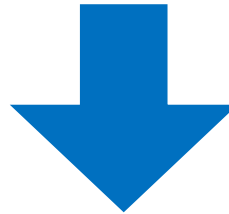
3. 令和7年の取組みについて

4. 令和8年度の取組みについて

改革の必要性

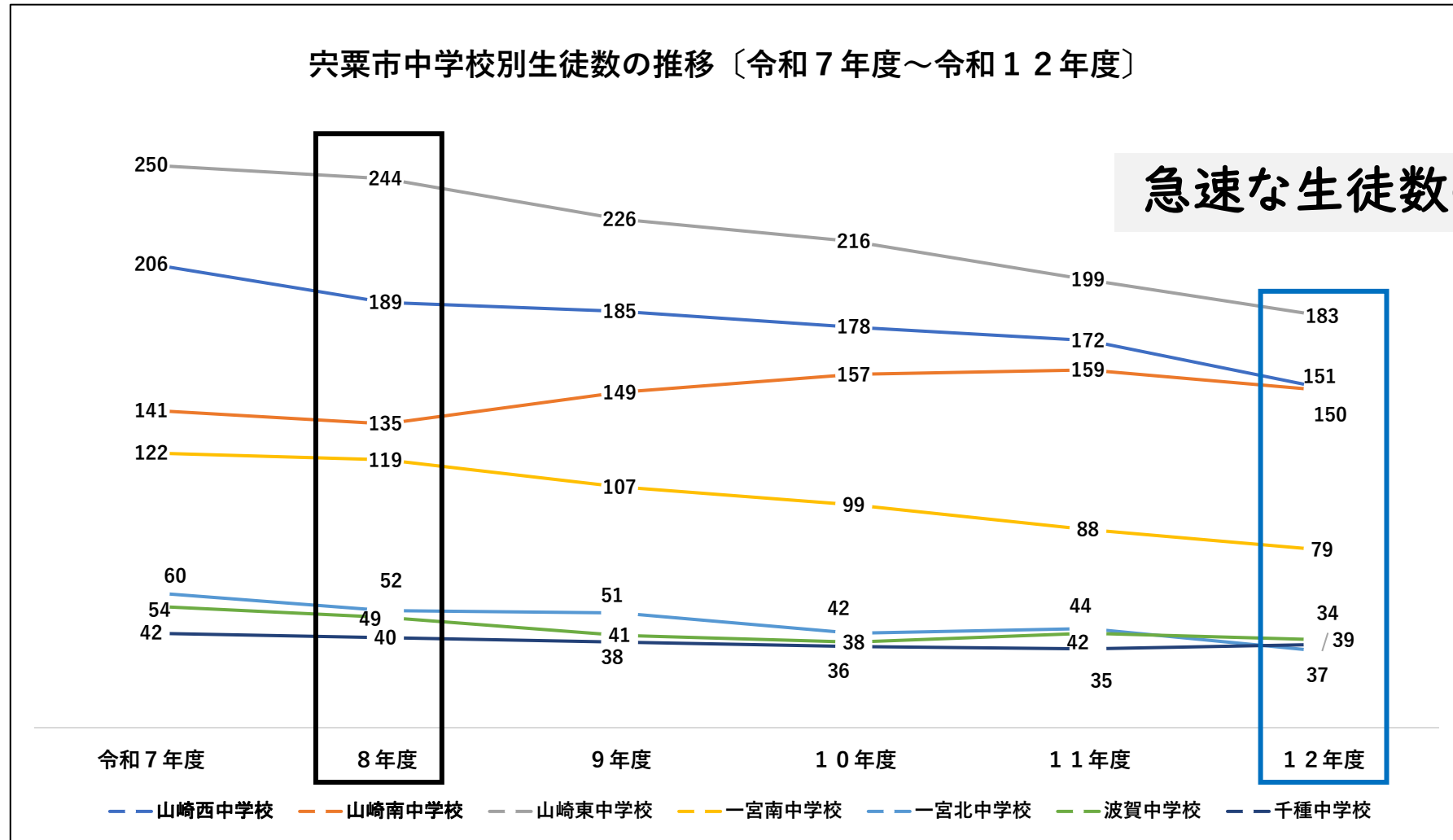
学校部活動はスポーツ・文化芸術活動に興味・関心のある生徒が参加し、各部活動の責任者（部活動顧問）の指導のもと、学校教育の一環として行われ、我が国のスポーツ・文化芸術振興を支えてきた。

しかし



- ・全国的な少子化の進行により、学校単位での部活動の存続が困難な状況になっている。
- ・教職員の働き方改革により、学校の教師のみに頼る従来どおりの指導体制は維持できない。

宍粟市の現状(1)



宍粟市の現状(2)

種目別加入状況一覧(令和8年5月時点)

	種目	山崎西	山崎南	山崎東	一宮南	一宮北	波賀	千種	全体	備考
学校生徒数		188	138	243	117	51	48	40	825	
学校部活動	野球	23	8☆	19	5△	11△	9☆		75	☆△は合同チーム
	ソフトボール	14○	15◇	16	4○	3◇			52	○◇は合同チーム
	サッカー	15		15					30	
	男子バレー	10	11□	30	20		3□		74	□は合同チーム
	女子バレー	13	14	25	19	11	8	9	99	
	男子卓球	19	17	29	17	8	7	16	113	
	女子卓球	12	10	20	15		6	7	70	
	陸上		11	20					31	
	剣道	6	6						12	
	バスケットボール			13					13	
	柔道				5				5	
	水泳			1					1	
	吹奏楽	30	26	22	13	12	9		112	実証事業(地域連携)
美術(文化)	22		10					32	実証事業(地域連携)	
入部生徒数		150	84	220	89	31	30	32	719	
未入部生徒数		11	7	11	2	3	3	8	45	
部活加入率		79.8%	60.9%	90.5%	76.1%	60.8%	62.5%	80.0%	87.2%	
地域クラブ	剣道	1	6						7	実証事業
	カヌー						1		1	実証事業
	男子バレー	3	1	3					7	実証事業
入会生徒数		4	7	3			1		15	
地域クラブ加入率		2.1%	5.1%	1.2%			2.1%		1.8%	
その他クラブ	その他クラブ	9	6	9	17	3	3		47	

学校の小規模化が進み、従来同様の学校単位による活動が困難

国の動向

- ・少子化が進む中でも、将来にわたり生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむ機会を確保するために、地域のスポーツ・文化資源を最大限活用し、社会全体で支える仕組みの構築が必要。
- ・生徒の活動機会の維持にとどまらず、多種多様な体験の実現や、良質な指導等とおした活動の質向上、地域社会の維持・活性化等につながることも期待。



「部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドライン」（令和7年12月）を策定し、令和13年度までを「改革実行期間」として、すべての学校部活動において平日・休日における地域展開等の実現をめざす。

部活動改革の理念

① 継続的にスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保・充実する

- ・急激な少子化が進む中でも、将来にわたり生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむ機会を保障する。

② 地域全体で関係者が連携し、生徒の豊かで幅広い活動機会を保障する

- ・学校単位で部活動として行われてきたスポーツ・文化芸術活動を、地域全体で関係者が連携して支えることで、生徒の豊かで幅広い活動を保障する。

③ すべての生徒が多種多様な活動に参加できる環境を整備する

- ・障がいのある生徒や、運動・文化芸術活動が苦手な生徒等を含め、すべての生徒がそれぞれの希望に応じて多種多様な活動に参加できる環境を整備する。

④ 地域全体の振興や活性化等につなげる

- ・中学生のみならず、すべての人々のスポーツ・文化芸術活動の充実につなげていく。また、子どもや大人、高齢者や障がいのある人の参加・交流を促進し、地域社会の維持・活性化等にもつなげていく。

1. 部活動改革の必要性

2. 宍粟市における部活動地域展開

3. 令和7年の取組みについて

4. 令和8年度の取組みについて

学校部活動から地域クラブ活動へ

	学校部活動 学校教育の一環 (教育課程外)	 地域クラブ活動 社会教育の一環 学校部活動の意義の継承・発展+新たな価値の創出
活動主体	各中学校	各地域クラブ (認定地域クラブ)
指導者	当該校の教職員	地域の指導者
参加者	当該校の生徒	地域の生徒等 (ほかの世代と一緒に参画する場合を含む)
活動場所	当該校の施設	学校施設、社会教育施設、地域の施設 等
費用負担	部費	会費 (可能な限り低廉な参加費、保険料等)
補償	生徒:日本スポーツ振興センター共済 教職員:公務災害 ※学校管理下	スポーツ安全保険 等 ※学校管理下外

子どもたちの
ニーズを反映

多様な活動機
会から選択可
能に

地域の幅広い
生徒とのつな
がり強化

幅広い世代・
属性間の交流
を促進

専門性の高い
指導が可能

引退のない継
続的な活動が
可能

宍粟市がめざす地域クラブ活動のイメージ

① 子ども自身の興味・関心に合わせた活動の選択

Aさん
地域クラブと民間のクラブチームに入って大会上位をめざしたい!

月		地域クラブ (スポーツ)
火		クラブチーム
水	学校	地域クラブ (スポーツ)
木		
金		地域クラブ (スポーツ)
土		地域クラブ (スポーツ)
日		

Bさん
地域クラブに入りたいけど塾にも通いたい!

月		地域クラブ (文化芸術)
火		塾
水	学校	地域クラブ (文化芸術)
木		塾
金		
土		地域クラブ (文化芸術)
日		

Cさん
スポーツと文化芸術両方を楽しみたいけど週末はゆっくり過ごしたい!

月		地域クラブ (スポーツ)
火		地域クラブ (文化)
水	学校	
木		地域クラブ (スポーツ)
金		地域クラブ (文化)
土		
日		

② 幅広い世代との豊かな交流



③ 学校区の垣根を超えた仲間とのつながり

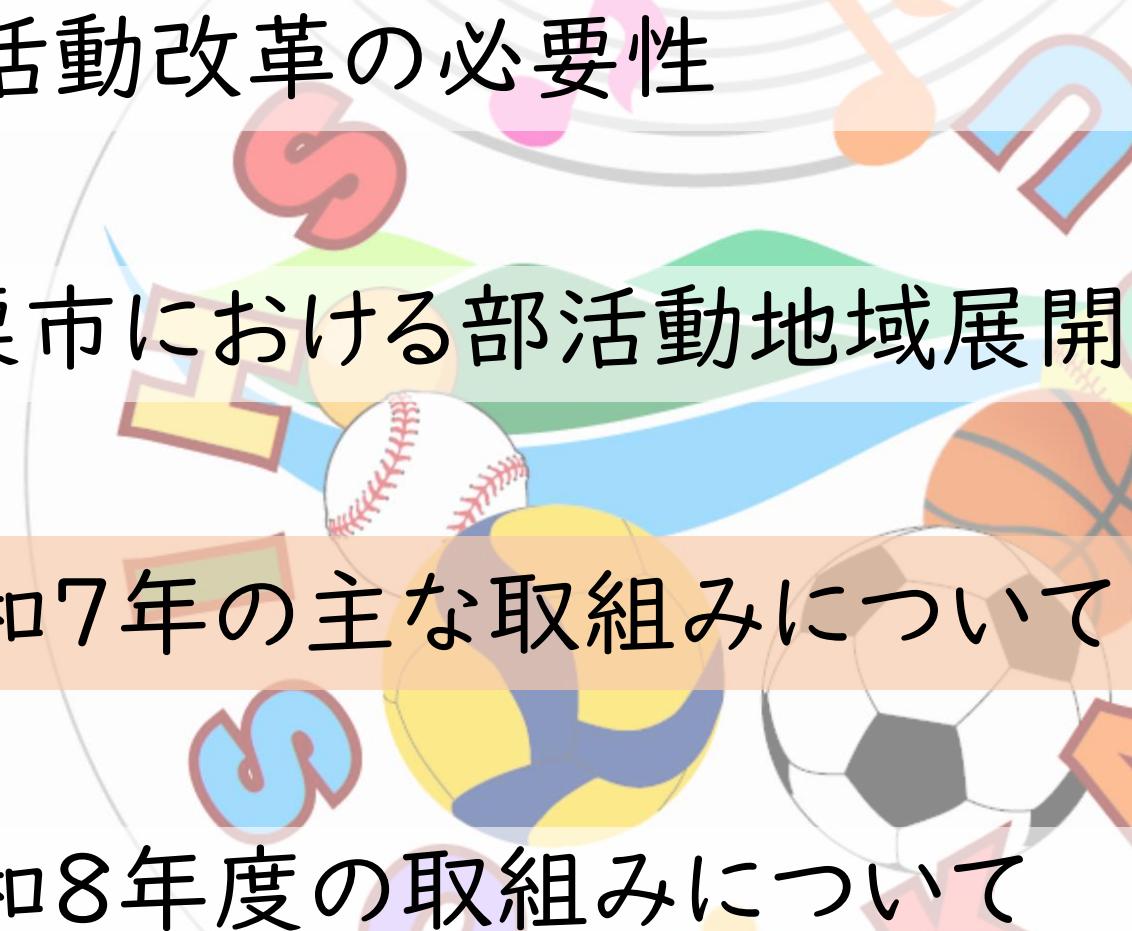


④ 引退のない継続的な活動



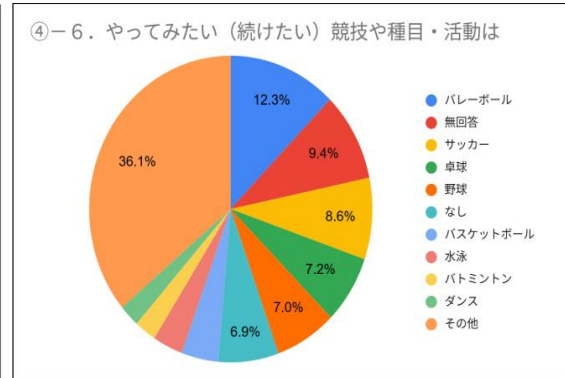
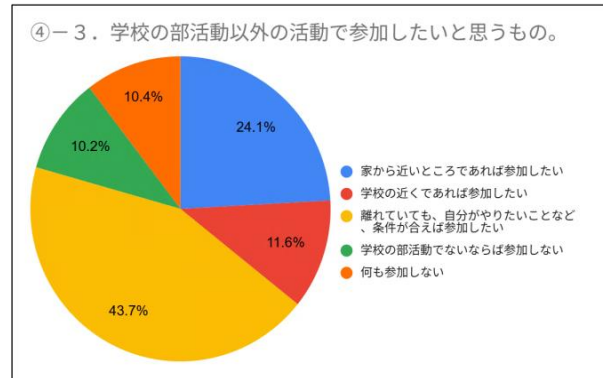
地域展開スケジュール～令和10年10月からの本格実施に向けて～



- 
1. 部活動改革の必要性
 2. 宍粟市における部活動地域展開
 3. 令和7年の主な取組みについて
 4. 令和8年度の取組みについて

部活動の地域展開に関するアンケート調査(1) (令和7年2月実施)

(対象) 小学5,6年生 (回答率100%) 集計結果(一部抜粋)

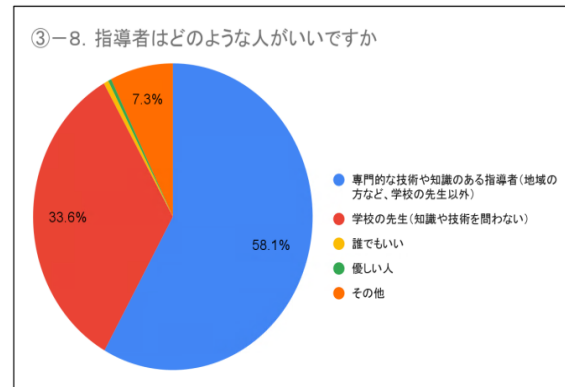
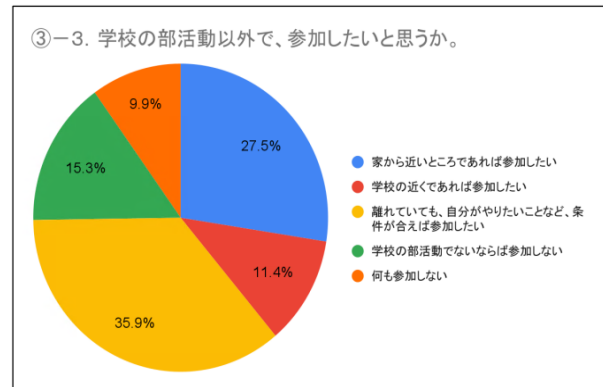


その他回答の例

eスポーツ	競技かるた	体操教室	ゴミ拾い	調理部	茶道	キャッチボール	空手
アーチェリー・弓道	リサイクル活動	茶華道	絵画教室	縄跳び	将棋	クライミング	剣道
ジュニアバンド	スケートボード	お絵かき	ピアノ	球技	読書	デザイン系	生け花
プログラミング	スノーボード	クリケット	文化活動	新体操	歌	ボランティア活動	ゴルフ
イラストレーター	ソフトボール	金管バンド	スキー	吹奏楽	弓道	ラクロス	陸上
楽器(ウクレレ)	ハンドボール	軽音楽部	テニス	華道	野外	ランニング	料理
カーリング	タブレット学習	よさこい	マラソン	英語			

・地域クラブ活動への参加に意欲的な児童が約8割。
 ・興味関心のある種目として多種多様な競技・カリキュラムが挙げられた。

(対象) 中学1,2年生 (回答率91.1%) 集計結果(一部抜粋)



その他回答の例

地域の人	学校の先生で技術がある人	学校の部活動でなくなるならしたくない	熱心すぎて周りが見えなくなる先生以外(生徒の気持ちになって物事を考えて指導ができる人)
生徒	技能のある学校の先生	知識があまりなくても部活動を丁寧にしてくれる人	理不尽に怒ってきたりせず、丁寧に教えてくれる人
どちらでも良い	ある程度の技術を持った人間	学校の先生や習っている卓球のコーチ	自分のしたいと思ったことをさせてくれる指導者
山崎リトルの監督	知識や技術を持っていれば	卓球が上手な地域の近所のおじちゃん	優しくミスをしてでも改善点を見つけてくれたりしてくれる人
指導者による	1、2両方あっても良い	子供を平等に楽しさを教えてくれる人	熱心に取り組んでくれる人
生徒をよく見る	技術や知識がある学校の先生	学校の先生で知識や技術を持っている	みんな同じように扱ってくれる人

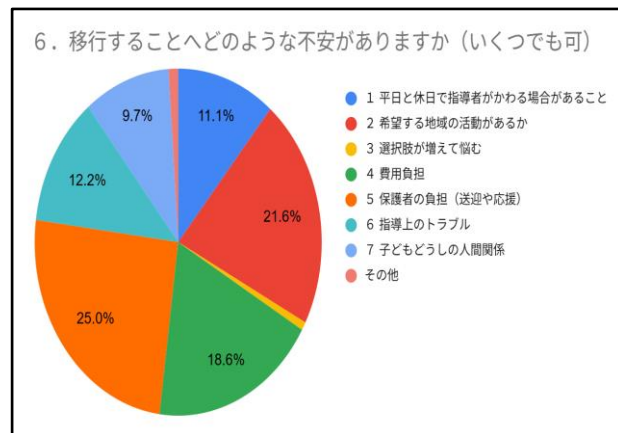
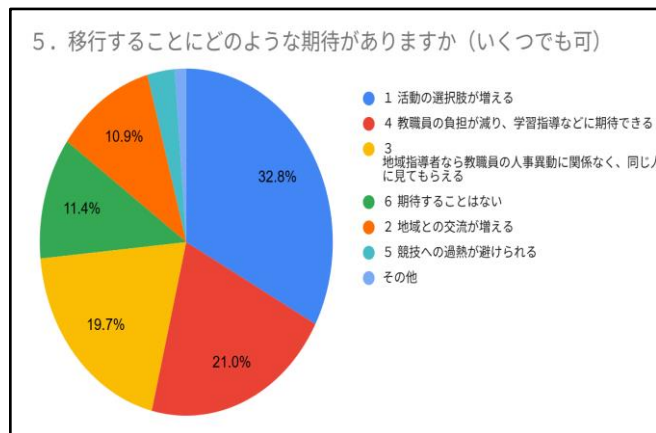
・地域クラブ活動への参加に意欲的な生徒は6割程度。
 ・専門的な技術指導ができる指導者を望む生徒が5割以上いる一方で、学校の先生にも引き続き関わってもらいたい生徒も約3割。

3. 令和7年の主な取組みについて



部活動の地域展開に関するアンケート調査(2) (令和7年2月実施)

(対象) 小学5,6年生の保護者(回答率43.9%) 集計結果(一部抜粋)

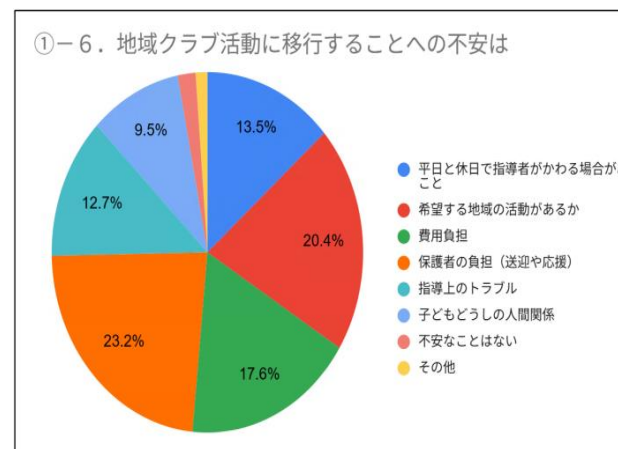
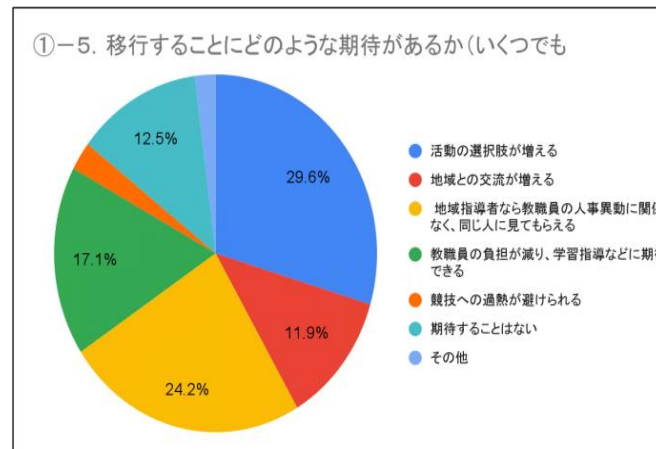


その他回答の例

<p>災害時は田舎でただでさえ選択肢が限られるのにさらに活動の幅が狭くなると思う。</p> <p>土日の送迎は行けても平日の送迎は厳しいと思う。</p> <p>先生と指導者との連携がとれるか不安。プライドの高い先生が外部の指示に従ってくれるとは思いたい。</p> <p>子どものしたい活動(スポーツ)がないのでは、という不安。</p> <p>一般の指導者への信頼性(生徒を安全に任せられるのか)</p> <p>指導者がいるのか? しょうがなく部活を選んで入った子がクラブ活動をしない子が増えるのではない? やる気のない子に育ちそう。</p> <p>田舎の方になると活動の選択肢が結局は増えないし、増えたとしても子供達自身で安全に通える場所にどれだけの選択肢があるのか。</p>
--

「活動の選択肢が限定されてしまうのではないか」「送迎や費用などの保護者負担」「指導者の確保」「ひとり親世帯への配慮」といった不安。

(対象) 中学1,2年生の保護者(回答率41.1%) 集計結果(一部抜粋)



その他回答の例

<p>トラブルや不安があったときに、指導者との直接のやりとりしか相談先が無いのが不安。部活動であれば学校や管理者が間に入っていたので、それが無くなるのは不安。</p> <p>部活不用。やりたい人だけ習い事であれば良い。</p> <p>教職員の負担が減ったとしても学校業務が多ければ意味がないと思う。</p> <p>参加しない・できない子どもが成長機会を失うこと。</p> <p>指導者が複数人になってそれぞれ違う指導内容になった場合、子供たちの戸惑いがでてくると思う。</p> <p>今まで部活に入るのがあたり前から、クラブ活動をしないという選択肢をする子が増え、スポーツ(吹奏楽)をするという魅力を知らないままになってしまう。中学での生活が充実しないのではないか。</p> <p>活動制限、時間制限で練習量が減る事で、体力の低下や時間ので持て余し、余計な心配が増えそう。</p> <p>ひとり親世帯への配慮。</p>

中学生座談会「スポーツ×中学生×文化」(令和7年10月28日開催)

(趣旨) これまでの部活動をとおして得られた学びと体験を振り返るとともに、中学生自身が豊かで幅広い活動の実現に向けた新たな価値を創出する機会とする。また生徒の望ましいスポーツ・文化芸術活動の環境構築に向けて意見交流を行う。

テーマ①「部活動で学んだこと、成長したこと」

- ・小学校とはちがう環境で会話の仕方などに変化があった。
- ・チームを引っ張る大変さ、難しさを感じた。
- ・チームプレーの中でのコミュニケーションの取り方を学んだ。
- ・みんなでやりとげることの嬉しさ、悔しさを感じられた。
- ・笑顔でコミュニケーションをとることの大切さを実感した。
- ・あいさつや礼儀、先輩・後輩の関係などを学ぶ機会になった。
- ・最後までやり続けることの大切さを学んだ。その分「できたときの喜び」が大きかった。
- ・体調管理、体のケアの大切さを再確認できた。
- ・自分で考えて行動することが成長につながるようになった。

テーマ②「部活動地域展開に期待すること」

【期待・希望】

- ・学校でやっていない種目があるといい。
- ・参加費を安くしてもらえると参加しやすい。
- ・経験のある指導者と、最高の環境で活動や交流がしたい。
- ・たくさんの選択肢の中から自分の個性を伸ばせるものを見つけたい。
- ・自宅や学校の近くで活動したい。
- ・目標となる大会やコンクールなどの発表の場を設けてほしい。
- ・地域クラブでの個人の頑張りを全校生の中で紹介してほしい。
- ・今の部活動のような感動や達成感を味わいたい。

【不安】

- ・道具や場所の管理について。
- ・送迎バスの有無について。
- ・やりたい種目があるのに指導者がいないときはどうするのか。
- ・価格設定(払いやすい参加費)について。



しそ教育創造フォーラム (令和7年11月29日開催)

(目的) 「地域クラブ活動」が、異世代交流をはじめとする「豊かで多様な体験」等の新しい価値の創出につながるよう、部活動地域展開の現状や課題について意見交流をおこない、宍粟市の生涯スポーツ・生涯学習等の一層の充実や、活力と魅力あるまちづくりをめざす。

(内容) 第1部 行政説明「宍粟市部活動地域展開推進方針について」
第2部 パネルディスカッション「どうなる!?宍粟の地域展開」
・宍粟市の地域展開の疑問を出そう
・宍粟市の地域展開の実情(実証事業も含めた現状)



第1部行政説明の様子



第2部パネルディスカッションの様子

(アンケート) ※一部抜粋
・令和10年度に学校の部活動から地域のクラブ活動に移行するに伴い、少子化や送迎など地域ならではの課題がたくさんあることがわかりました。指導者の人材を確保するため地域資源の発掘に注目しています。現在、剣道や吹奏楽など一部のクラブ活動で実証が行われていることを知り、専門的な技術指導のもと成果が出ていることは素晴らしいと感じました。一方、全てのクラブ活動で同じようにはできないのかなとも思います。家庭のある働き世代が平日に教えるのは難しいと思ったからです。個人的には、大人が中学校に足を運ぶことに共感しました。例えば、60~70代でスポーツや文化活動を経験のある有志の方が学校に赴き、中学生が主となって活動することに補助や助言ができれば、と思いました。そうすることで、中学生は移動の負担が少なく活動ができますし、サポートする側は地域活動に参画し、自身の健康寿命の延伸に繋がるのではと考えました。もちろん技術向上のためコーチングに関しては、ICTの活用や地域クラブの指導者に直接指導してもらう機会、曜日を作る必要はあると思います。中体連の事情も知って、新たに子どもたちが活動の成果を出したり、安心して活動するために地域クラブに所属しつつ、活動のやり方を地域全体で創出できれば良いなと感じました。(30代地域住民・保護者)

・広範囲な宍粟市において、交流、技術向上、入賞等、目指すゴールが多様であればあるほどそれを支える体制を整えることは大変になっていきますが、声を大切にして議論を重ね、理解者協力者を増やしていくことが持続可能で成長を続ける地域クラブをつくっていくことにつながると信じています。宍粟の子どもたち、教職員、指導者、保護者、行政それぞれが責任を果たす事を自覚し、行動に移せるようになるように、互いに声を掛け合う地道な取組を続けていきたいです。(50代教職員)

宍粟市部活動地域展開推進方針の策定

宍粟市の子どもたちが、将来にわたってスポーツや文化芸術活動に親しむことのできる環境づくりを行うための基本となる考え方

推進方針のポイント

1. 将来にわたり、スポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会の確保
2. 子どもたちの希望やニーズに応じた多様で豊かな体験の実現
3. 異世代との交流、持続可能な活動環境の整備
4. 教職員の超過勤務と業務改善をはじめとする働き方改革につながる活動
5. 宍粟市の生涯スポーツ・生涯学習等の一層の充実

市・学校の役割

- 市の役割
- ・推進委員会を設置し、部活動の地域展開をめざして、その改革実行について協議・検討しながら着実に取組を進める。
 - ・児童、生徒や保護者、学校関係者、地域クラブ関係者への丁寧な説明と広報活動を行う。
- 学校の役割
- ・「校内部活動検討委員会（仮称）」を設置し、実行期間内に創設された地域クラブとの連携等について検討していく。
 - ・学校部活動の教育的意義や役割を継承、発展させていく視点や、生徒の活動状況に関する地域クラブとの情報共有に積極的に取り組む。

実証事業の実施

宍粟剣道連盟(中学部)



実施主体 宍粟剣道連盟

参加生徒数 5人

主な活動実績
・平日および休日の活動
・兵庫県中学校剣道新人大会出場

宍粟市カヌークラブ



実施主体 宍粟市カヌークラブ

参加生徒数 2人

主な活動実績
・休日における体験会の実施

宍粟市内吹奏楽部合同講習会



実施主体 宍粟市吹奏楽団後援会

参加生徒数 75人

主な活動実績
・休日における合同講習会でのプロの講師による演奏指導

宍粟市部活動地域展開推進委員会（1）

- （目的） 生徒の望ましい運動・文化活動の環境構築に向けた検討。
- （組織） 学識経験者、スポーツ・文化芸術関係団体代表者、保護者、教職員等
- （事務局） 宍粟市教育委員会
- （会議） 第1回目（7/28）
・各部会（企画・制度、スポーツ、文化芸術、施設環境）に分かれての協議
- 第2回目（9/29）
・宍粟市部活動地域展開推進方針（案）の了承
・各部会に分かれての協議
- 第3回目（11/20）
・中学生座談会の報告
・各部会に分かれての協議
- 第4回目（R8.2/5）
・R7実証事業の報告（剣道・カヌー・吹奏楽）
・R8に向けた体制整備について 等

宍粟市部活動地域展開推進委員会(2)

協議をとおして共有された主な課題等

指導者の確保



- ・指導者がいない(または高齢化)ことによる種目数の減少
- ・指導者資格、養成、研修制度について

保護者の負担



- ・送迎や会費の面での負担(特にひとり親家庭や生活困窮世帯への配慮)

練習場所の確保と移動手段



- ・遠方だと練習時間が短くなるし、帰宅も遅くなる心配
- ・スクールバス等活用の検討

学校施設等の利用体制



- ・「スマートロック」導入の検討
- ・インターネット環境の整備
- ・空調設備の充実

教職員の兼職兼業



- ・地域クラブへの関与の有無によって保護者や生徒からの印象が変わってしまうことへの不安感

広報の重要性



- ・市民への情報提供不足
- ・わかりやすい丁寧な広報

大会・コンクールへの参加資格



- ・地域クラブからの大会(中体連)への参加資格について

子どもたちの多様なニーズへの対応



- ・部活動にはなかった種目や子どもたちが興味関心のある競技など、可能な範囲での選択肢拡大

過渡期の対応



- ・部活動と地域クラブ両方の選択肢があることで生じる様々な問題への対応

持続可能な体制づくり



- ・運営体制の確立(生徒の安全確保、指導者研修、相談窓口、公的支援、責任の所在等)

愛称・ロゴの決定

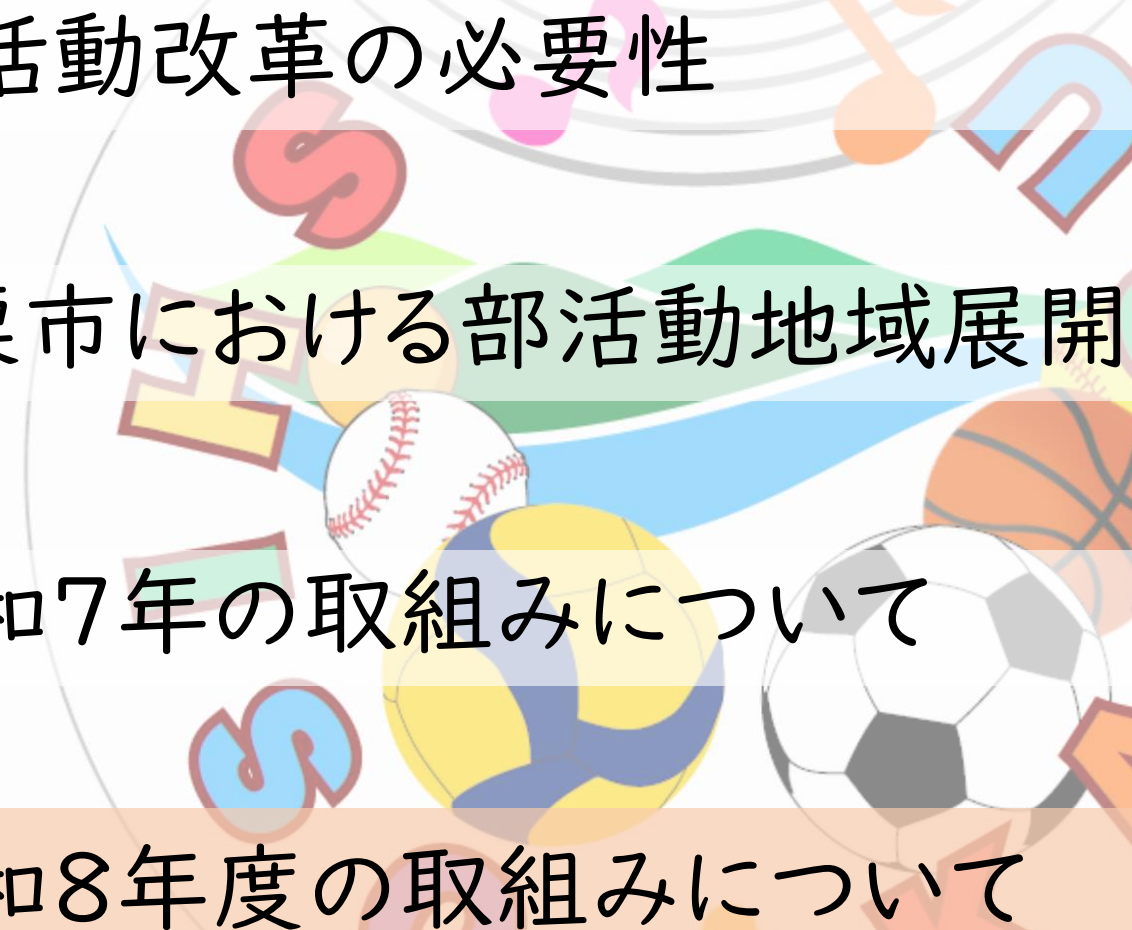
愛 称 「しそ^{しそ}カツ^{カツ}」(宍粟市地域クラブ活動) ※中学生からの募集及び投票によって決定

ロ ゴ 山崎西中学校美術部、山崎東中学校文化部による制作



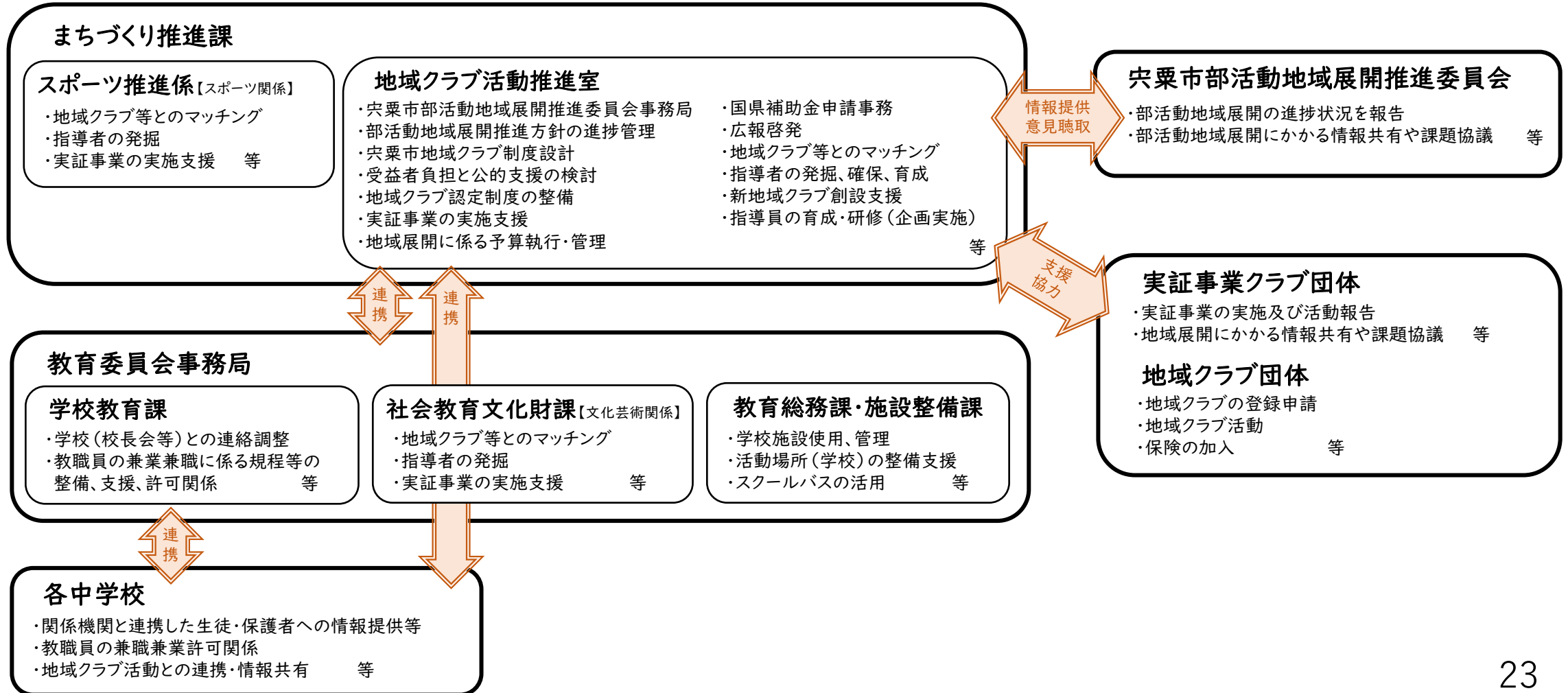
宍粟市の自然や市章をデザインに取り入れるとともに、部活動の楽しさや明るさを配色で表現している。

※通常は「しそ」をひらがな、「カツ」をカタカナで「しそカツ」と表記し、場合によりローマ字や漢字などでアレンジ可能

- 
- A large circular background illustration featuring various sports and music icons. At the top, there are musical notes and a treble clef. Below that, there are stylized letters 'S', 'U', 'R', 'A', 'K' in different colors. In the center, there are icons for a baseball, a basketball, a soccer ball, and a volleyball. At the bottom, there are more stylized letters 'S', 'U', 'R', 'A', 'K' and a stylized figure of a person.
1. 部活動改革の必要性
 2. 宍粟市における部活動地域展開
 3. 令和7年の取組みについて
 4. 令和8年度の取組みについて

地域クラブ活動推進室 (通称:しそカツ推進室)

部活動の地域展開に向けてスポーツ活動および文化芸術活動を一体的に推進し、関係者との調整等を行う専門機関の創設





認定地域クラブの創設と実証事業の拡大および検証に向けて

※R8.5月時点の予定（調整段階の団体を含む）

スポーツ関係

種 目	開始時期 (予定)	活動日 (予定)
剣 道	R8年 4 月～	平日および休日
カヌー	R8年 5 月～	休日
バレーボール	R 8 年 5 月～	平日および休日
陸 上	未定	平日および休日
柔 道	未定	未定

文化芸術関係

種 目	開始時期 (予定)	活動日 (予定)
吹奏楽	R8年 5 月～	休日
美 術	R8年 5 月～	平日

本格実施に向けて実証事業の拡大をめざし、成果・課題の検証を行う

既存の活動団体も活用した柔軟で持続可能な体制整備の構築

宍粟市部活動地域展開推進委員会

(委嘱期間) 令和8年4月1日～令和9年3月31日

(事務局) 宍粟市まちづくり部まちづくり推進課(地域クラブ活動推進室)

(会議予定) 第1回目(5/26)


- ・認定地域クラブの認定に関する要綱について
- ・認定地域クラブ募集について
- ・学校教職員が地域クラブ活動に従事する場合の兼職兼業の許可に関する要綱について

第2回目(10月下旬頃予定)

- ・地域クラブ募集状況、認定状況等
- ・移動手段、受益者負担と公的支援について(案)

第3回目(2月上旬頃予定)

- ・実証事業報告
- ・令和8年度総括および令和9年度に向けて
- ・令和9年度の認定地域クラブについて



宥栗の子どもたちを“まんなか”に